

樹人舎

(一年の計は穀、十年の計は樹、百年の計は人を樹うるにあり)



神崎市立脊振中学校
学校だより No. 24
令和4年11月30日
校長 中山 孝史

～脊振小・中学校研究発表会～

11/18 (金) 「児童・生徒の“学び”をつなぐ、学習指導の在り方」という研究主題で脊振小・中学校小中連携教育研究発表会を行いました。

午前中に公開授業である小学3年生の総合的な学習の時間「じまんの脊振をもりあげよう」、4年生の理科「もののあたたまり方」、中学1年生の英語「Research on Australia」を見ていただいた後、授業研究会を行いました。

午後は國學院大學人間開発学部初等教育学科の田村学教授に「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～令和の日本型学校教育の構築を踏まえて～」という演題で大変わかりやすい講演を行っていただきました。

佐賀県教育委員会、神崎市教育委員会の他、県内から43名の方々にご参加いただき、盛会のうちに終了することができました。ご協力いただいた育友会の皆様、ありがとうございました。



小3総合的な学習



小4理科



中1英語



田村先生の講演

～認知症キッズサポーター養成講座～

11/24 (木) 認知症予防キッズサポーター養成講座がありました。神崎市役所の江里口隼人さんとおたっしゃ本舗神埼(神崎市地域包括支援センター)の4名の方、西九州大学の岡部由紀夫先生と5名の学生の方にご来校いただき、認知症はだれでもなる可能性のある病気であること、認知症の方への接し方として3つの「ない」(おどろかせない、急がせない、否定しない)が大事であることなどを教えていただきました。その後、認知症の方への声のかけ方について、ロールプレイによって学び、生徒たちは認知症サポーターとして認定されました。

～人権講話～

11/25 (金) 2年生の人権講話を行いました。「リスペクト アザース」のDVDを視聴し、アメリカと日本の文化の違いを考えることを通して、他の人を尊重することの大切さを学びました。人権擁護委員の森崎さんと野口さんから話をさせていただきました。

～生徒会役員選挙～

11/28 (月) 生徒会役員選挙を行いました。選挙管理委員長は、3A坂井優太くんが務めました。立会演説会では皆、脊振中をよりよい学校にすることを訴えました。投票の結果、生徒会長は2A一番ヶ瀬理己くん、副会長・JRC委員長は2A石松隼くん、学習広報委員長は2A高島魁斗くん、保健体育委員長は2A三瀬遼くん、書記・会計は1A宮田望愛さんに決まりました。